

委員からの主な発言

井の口川水系河川整備基本方針(案)について

1. 井の口川から流出する土砂は、気比の松原の供給源としての役割があるのか。
2. 計画規模の妥当性を示す根拠の一つとして、費用対効果による評価も行うべき。
3. 河川整備を進めていくためには、地域住民の方の協力が不可欠である。このため、河川整備の目的や進め方などについて理解が得られるよう、十分に説明を行っていく必要がある。
4. 現地視察でゴミが目についた。住民の方の井の口川に対する意識が薄れているような気がする。より地域に愛される川づくりを行っていくためには、住民の方が井の口川に関心を持つような活動やPRも必要ではないかと思う。

井の口川水系河川整備計画(案)について

1. 今までの井の口川改修についての経緯や考え方を教えてほしい。
2. 住民が積極的に井の口川に親しみ、愛護する気運を高めるためには、今まで以上に情報公開の対象や方法などについて考えていく必要がある。
3. 現在、井の口川に敦賀市の花であるハギを植えている団体がある。こうした市民の河川愛護活動はぜひ拡大していくべきである。
4. 河川整備の具体的な目標やイメージがあった方がよいのではないか。
5. 維持すべき水深を設定する、河原や河岸の草木を多年生にするなどの工夫があればいいと思う。
6. 気比の松原や海水浴場に対する井の口川からの負荷を減らすため、土砂管理や水質維持などが重要となる。



第4回流域検討会 審議の様子